

MICRO CADAM Helix Support Security Policy

貴社の図面は守られていますか？

大切な図面が盗難や過失によって流出してしまってからでは遅すぎます。

MCHS では、貴社の大切な資産をお守りするべく、さまざまなセキュリティー機能を追加しています。次の2つの視点からセキュリティー機能を強化しました。

- ◆ 不用意な流出を防止する
- ◆ 流出したときに備える

それでは、それぞれの視点にたって、どのような機能が追加されたかご紹介しましょう。



不用意な流出を防止する

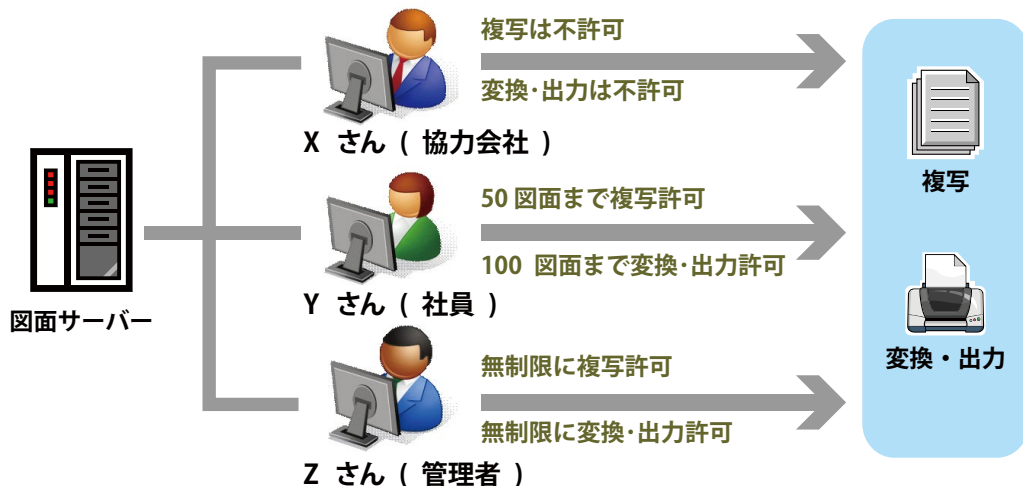
図面流出防止機能

図面の流出を防止するため、利用できる資源を抑制する機能です。いままでもプリビレッジ機能によって、ユーザー ID ごとに図面への不正アクセスを防止することができましたが、さらに機能を強化し、盗難や過失による大量の図面資産の流出を未然に防ぎます。

- ◆ ローカル・ドライブ／リムーバブルディスクへの図面保存禁止機能
指定したローカル・ドライブやリムーバブルディスクなどへの図面保存を禁止します。これにより、図面が外部に持ち出されることを防ぎます。



- ◆ 図面の大量複写・変換・出力の抑制機能
複写、変換、出力するとき、ユーザーごとに一度に扱える図面数を制限できます。



流出したときに備える

セキュリティ・コード機能

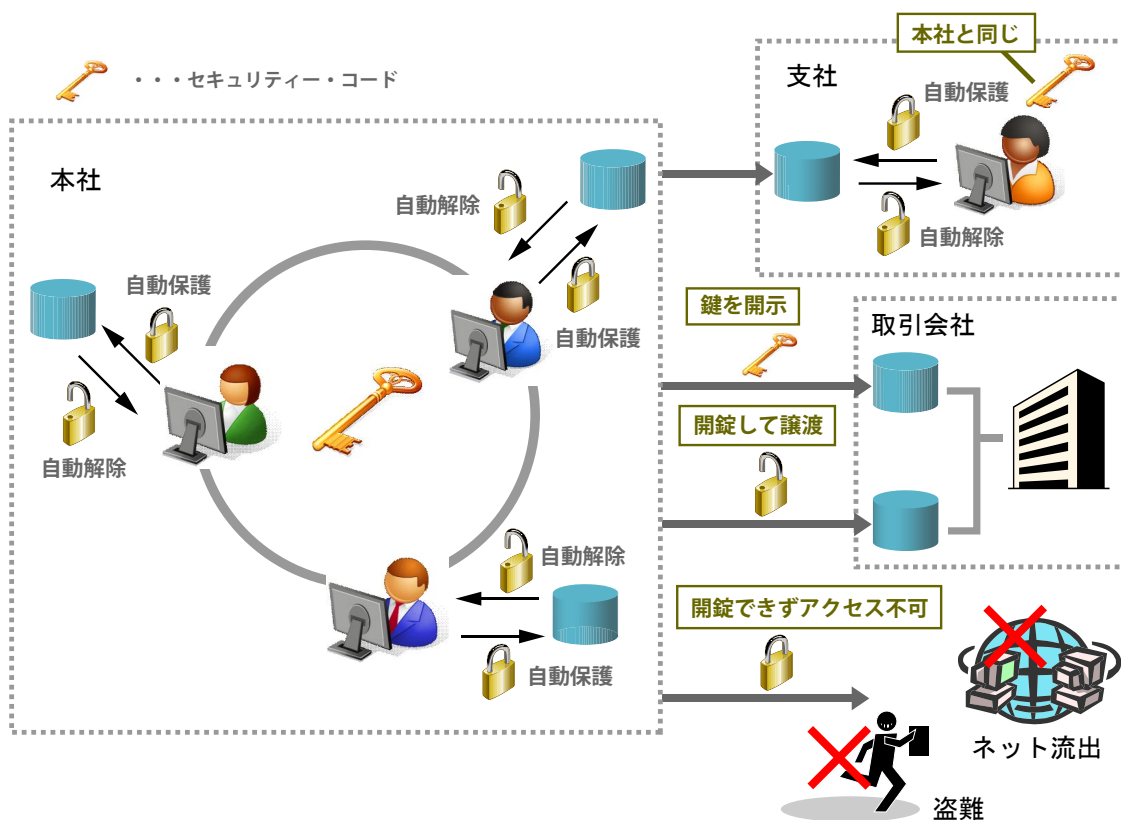
図面に暗号化されたコードを埋め込むことによって、不正アクセスやデータの改ざんを防ぎます。この暗号化されたコードを「セキュリティ・コード」といいます。

セキュリティ・コードが設定されている環境下で図面をファイルすると、セキュリティ・コードが自動的に図面に付加されます。

同じ環境下では、利用者はセキュリティ・コードを意識せずに図面を処理できます。

セキュリティ・コードが設定されていない環境、または同じセキュリティ・コードではない環境下では、図面にアクセスした際、セキュリティ・コードの入力が要求されます。したがって、万が一盗難や過失によって図面が流出した場合でも、図面の機密性は保たれます。

環境が異なる関連会社、あるいは取引会社などに図面を譲渡する際は、セキュリティ・コードの開示、または事前にセキュリティ・コードの解除が必要となります。



従来のパスワード機能に類似していますが、一般利用者が各自で設定する図面のパスワードとは異なり、セキュリティ・コードは運用管理者のみが認知するよう運用することによって、セキュリティがより強固になります。

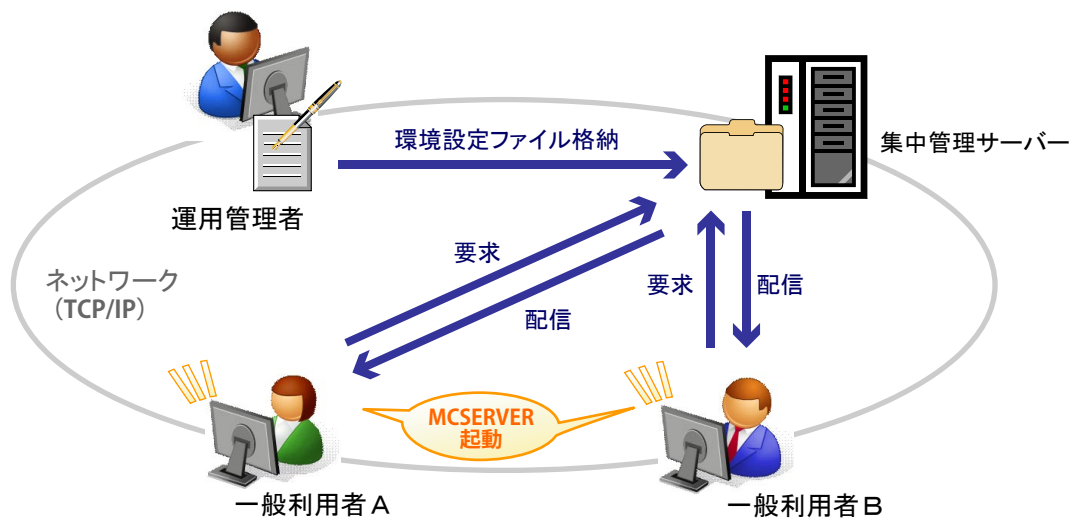
貴社の設計環境はきちんと管理されていますか？

MCHS では、セキュリティー環境や利用環境を、運用管理者が設定し、集中して管理できる機能を提供しています。この機能を「集中管理機能」といいます。
この機能を利用すれば、面倒な環境設定をまとめて設定でき、改変があった場合もすばやく対応できます。また、運用管理者のみが設定・管理することによって、一般利用者による不注意な書き換えを防止できます。これにより、運用管理下では常に統一された環境で利用できます。
では、集中管理機能について、以下に詳しくご説明しましょう。

運用管理者の面倒を軽減

今までは、定められた利用環境ルールに従い、運用管理者または一般利用者が各環境をひとつずつ設定したり、運用管理者が設定した環境設定ファイルなどを、各クライアントに複写・転送したりするなどして、環境を整えるといったような面倒な作業でした。また、利用環境に改変があった場合など、すべてのクライアントの環境を変更するまでの時間と労力は多大なものでした。

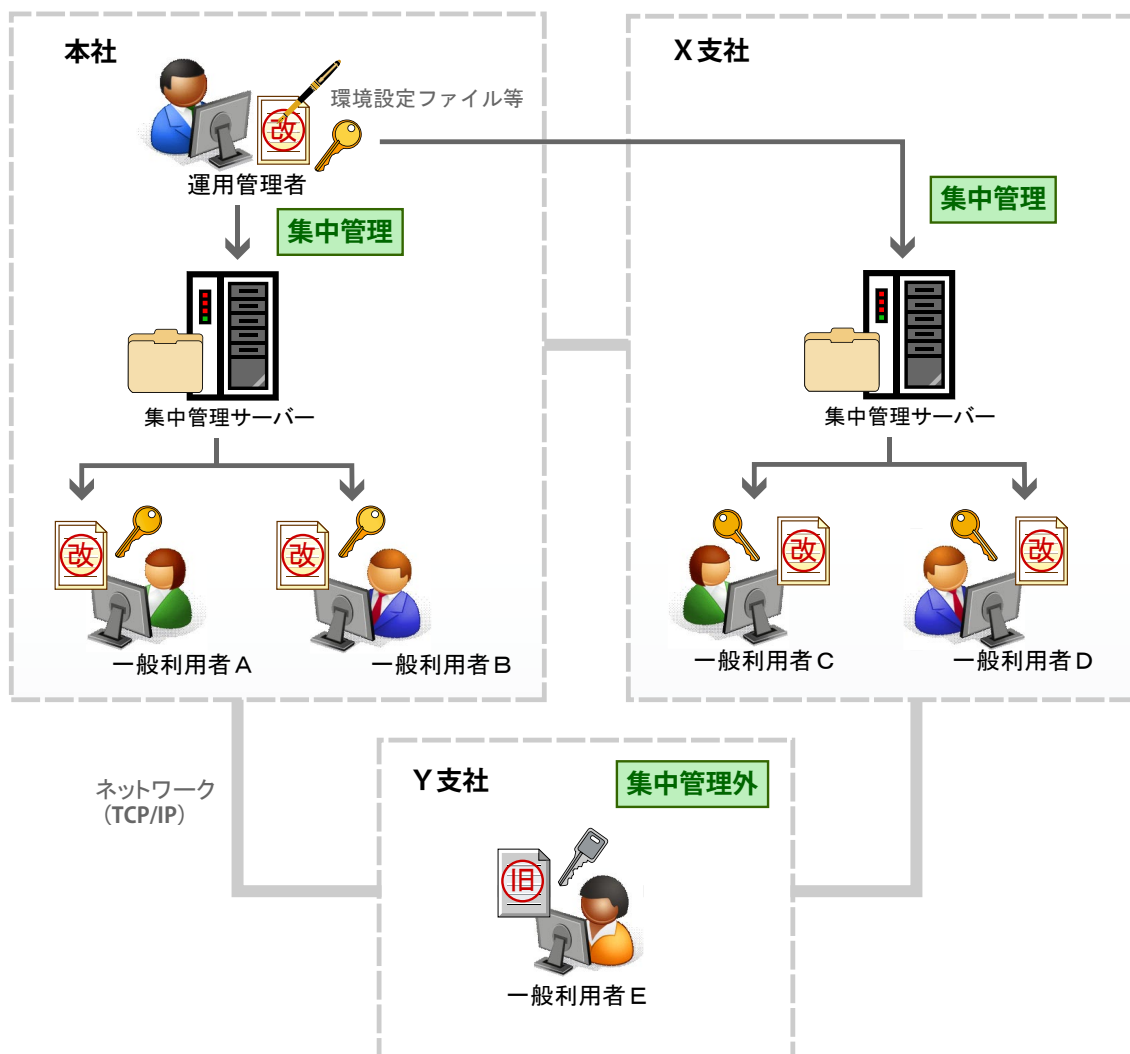
集中管理機能は、運用管理者が設定した各種環境設定ファイルを集中管理サーバーに登録し、集中管理サーバーから各クライアントに一括で配信します。したがって、運用管理者がひとつの利用環境を設定すると、各クライアントは起動するたびに、最新の環境で MICRO CADAM を利用できるようになりました。
運用管理者は、コンピューターごとの面倒な利用環境の新設や改変から解放されます。



設計環境を統一

運用管理者がクライアントの環境を集中的に管理することにより、一般利用者に個々の環境を不用意に変更されることなく、統一された利用環境を構築でき、システム全体の設計環境を一元化することが容易になりました。

運用管理者は、環境設定の適用範囲を設定でき、また、サーバーごとに設計環境を変更することも可能です。



※上図では、本社の運用管理者が環境設定ファイルを改変すると、集中管理下にある本社の一般利用者およびX支社の一般利用者の環境も更新されますが、集中管理下ではないY支社では環境は更新されません。

また、セキュリティー・コードが変更された場合も、Y支社では変更されません。

これからも、お客様の大切な資産を守るために、機能の充実を図ってまいります。

※ この機能は MCR0801 からご提供しています。MCR0703 を含め、それ以前の MCR ではご利用いただけません。

株式会社CAD SOLUTIONS

<http://www.cad-solutions.co.jp/>
E-Mail: mccc@cad-solutions.co.jp

MICRO CADAM, MICRO CADAM Helix は、株式会社CAD SOLUTIONSの商標です。
その他の会社名、製品名などは、一般に各社の登録商標または商標です。
※このパンフレットに記載されている内容は事前の予告なく変更することがあります。

Copyright © 2016 CAD SOLUTIONS Inc. All Rights Reserved.

